

食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補に関する
企画等専門調査会における審議結果について

	案件候補	審議結果	審議の内容
1	有機フッ素化合物 (PFOA・PFOS)に関する食品健康影響評価	評価案件候補とする。	厚生労働省、環境省が水質の目標値等の検討を開始したことから両省に科学的な助言を行っていくべき。
2	真空パック詰食品 (容器包装詰低酸性食品)のボツリヌス菌による食中毒のリスク評価について	ファクトシートを更新する。	最近の真空パック詰食品による食中毒事例を追加して、食品安全委員会のファクトシートを更新すべき。
3	クロノバクター・サカザキのリスク評価について	乳児用調製粉乳の適切な調乳と消費の方法について情報発信を行う。	食品安全委員会は、乳児用調製粉乳の適切な調乳と消費の方法について、引き続き、国民一般に向けてわかりやすい情報を発信すべき。
4	寄生虫性食中毒 (粘液胞子虫)における2次汚染の可能性	食中毒の予防啓発のための情報発信を行う。	食中毒の予防三原則を徹底することにより、細菌性食中毒等を含めた予防啓発を引き続き行っていくことが重要。

※案件候補については、食品安全モニター、ホームページによる外部募集、地方公共団体の食品安全担当職員、専門委員等を通じて9件（重複があるため案件としては7件）の提案が寄せられ、第37回企画等専門調査会で調査審議を行った結果、上記4件に絞り込まれた。